

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫の架台等の設置）に係る面談
2. 日時：令和2年7月22日（水）15時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
松井安全審査官、高木技術参与
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー 廃棄物保管施設プロジェクトグループ 1名
福島第一原子力発電所 計画・設計センター 機械技術グループ 2名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、本日付けで申請のあった大型廃棄物保管庫架台等の設置に係る申請について、申請内容について以下のとおり説明があった。
 - 本申請は、今年5月27日付けで設置が認可された大型廃棄物保管庫において使用する、第二/第三セシウム吸着塔用の架台及び揚重設備（クレーン）の設置を目的とした申請であること。
 - 架台、揚重設備の概要、基本仕様、架台の耐震性評価結果等。
- 原子力規制庁は、東京電力に対して以下の説明を求めた。
 - 大型廃棄物保管庫の床応答スペクトルについての説明はあるが、解放基盤面の基準地震動 S_s を基に大型廃棄物保管庫基礎の設計入力地震動を求めるまでの地震応答解析及び当該保管庫の床応答スペクトルを求めるまでの解析内容。
 - 保管架台の床応答スペクトルの算出において使用している減衰率を5%とした理由、根拠。
 - 架台の耐震性評価において解析モデルの説明があるが、実際に設置する架台の構造と対比した説明。
 - 耐震Cクラスとしている揚重設備の設置によるBクラス機器への波及的影響の評価及び結果。
 - 大型廃棄物保管庫の建物の設置を認可した際に、安全性評価に使用していた条件値（例えば建屋の基礎であれば、架台の床荷重は貯蔵エリアで $21.07t/m^2$ ）との関係。

6. その他

資料：大型廃棄物保管庫の揚重設備及び架台設置に係る実施計画の変更について